

第13期末（2017年8月31日）	
基準価額	17,859円
純資産総額	12,385百万円
第13期	
騰落率	21.6%
分配金（税込）合計	0円

(注1) 基準価額は1万円当たりで表示しています。
(注2) 純資産総額の単位未満は切り捨て表示しています。
(注3) 騰落率は小数点以下第2位を四捨五入しております。

- 投信法の改正により、2014年12月以降、従来の運用報告書に代えて交付運用報告書を交付することと変更されております。
- 本交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、ありがとう投信株式会社のホームページにて閲覧・ダウンロードすることができます。
- 運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、右記お問合せ先までお問い合わせください。

【運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法】
右記ホームページにアクセス頂き、「ありがとうファンド」－「運用状況・レポート」－「運用報告書」とお進みください。

ありがとうファンド

（愛称：『ファンドの宝石箱』）
追加型投信/内外/資産複合

交付運用報告書

第13期（決算日 2017年8月31日）

作成対象期間：2016年9月1日～2017年8月31日

●受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、皆様の「ありがとうファンド」は、2017年8月31日に第13期の決算を行いました。第13期も当ファンドは、長期国際分散投資で世界経済及び企業の成長を享受すべく投資先を厳選して運用を行って参りました。

ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。



ありがとう投信
Arigato Asset Management inc.

東京都台東区上野3丁目19番4号 サカイビル
ホームページ <https://www.39asset.co.jp>

◆お問合せ先

ありがとう投信株式会社

TEL. 0800-888-3900（フリーコール）

受付時間：8:30～17:30（土日祝日を除く）

お客様へのメッセージ

長谷 俊介（代表取締役社長）

おかげさまでありがとうございますファンドは第13期の決算を無事に迎えることができました。これもひとえに皆さまのご支援の賜物であると感謝しております。誠にありがとうございます。

この1年間を振り返って見ますと、トランプ大統領の就任やポピュリズム政党の台頭、北朝鮮問題等の地政学リスクや米国の金融緩和の出口戦略に影響を受けるマーケットでありましたが、そのような環境の中で弊社では長期国際分散投資で安定した運用パフォーマンスの提供を目指して、グローバルに実績のある新規投資先パートナー・投資先ファンドの採用を行い、資産配分及びポートフォリオの見直しを進めてきた結果、リスクを抑えながら安定した運用パフォーマンスの提供をすることができたのではないかと考えております。

第13期は第二の創業と言えるくらい弊社創業の原点に回帰して色々なことに一つ一つ全力で取り組んで参りました。この成果は第14期以降に徐々に出てくるものと確信しております。

引き続き長期的な資産の成長を目指して国際分散投資を行って安定した運用パフォーマンスの提供を目指して参りますので、お客様の将来を見据えた資産運用をこれからもサポートさせていただきます。

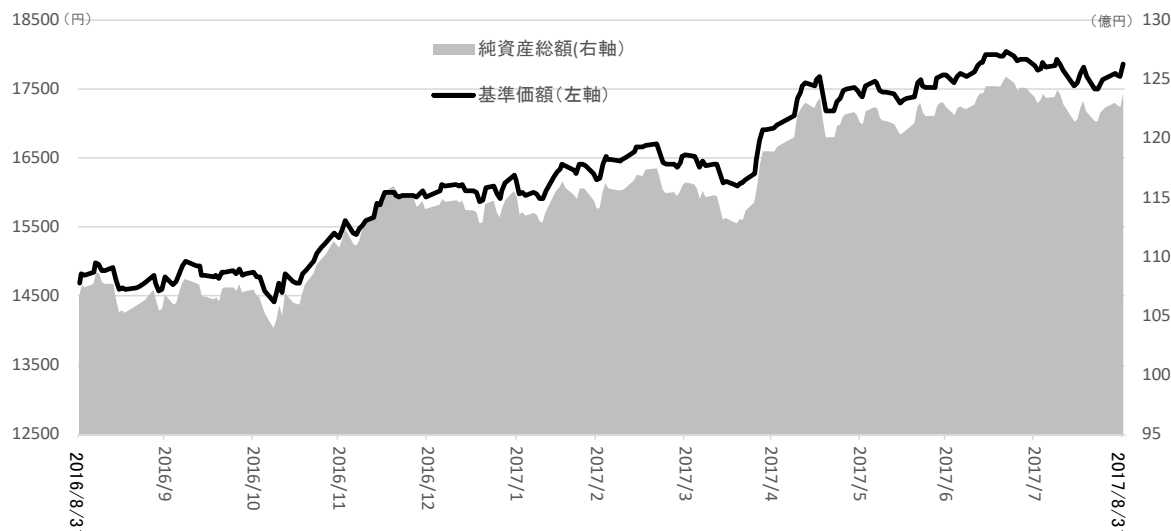
弊社はこれからもお客様のご期待に応えられるように役職員一同精進して参りますので、引き続きご愛顧の程何卒よろしくお願い申し上げます。

真木 喬敏（ファンドマネージャー）

リーマンショックから9年が経とうとしています。その影響は米国市場のみならず、欧州危機など世界経済に様々な影響を与えました。そういった悪循環を断ち切るために、主要国政府は様々な金融緩和を駆使して、経済の安定を図ってきました。その金融緩和についても、出口が見えてきた国・地域、まだまだ追加緩和が必要な国・地域、一度は緩和を緩めるも再び緩和が必要になる国・地域など、9年前に始まった衝撃は形を変えてまだ尾を引いています。直近一年間の市場環境を振り返ると、大半の予想に反したトランプ大統領誕生、欧州でのポピュリズムの台頭の混乱、北朝鮮のさらなる挑発的行動など様々な出来事がありました。マーケットはこれらのイベントに対してその都度反応してきましたが、リーマンショックからの回復という大きな流れは変わっていないと考えております。大規模な金融緩和からの出口という今まで市場関係者が経験したことのない未知の市場環境では、特定の国・地域に偏ることなく分散投資する「国際分散投資」の重要性がさらに増すと考えております。その上で、広く世界に分散するということは何でもかんでも買うということではなく、良い企業を厳選すべきと考えております。メガトレンドに乗りこれから長期で必要とされる商品・サービスを提供する企業に「厳選投資」することにより、景気サイクルの影響をあまり受けずに安定して長期で成長する運用を心掛けますので、今後とも宜しくお願い致します。

運用経過のご説明

○当期中の基準価額等の推移 【2016年9月1日～2017年8月31日】



期 首	期 末	既払分配金	騰落率
14,686 円	17,859 円	0 円	21.6%

(注1) 当ファンドにベンチマークはありません。

(注2) 分配を行っておりませんので分配金再投資基準価額は表示しておりません。

(注3) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の変動要因

当期は、投資先ファンドのアリアンツ・ヨーロッパ・エクイティ・グロース・セレクトファンドを除いたすべての投資先ファンドが当ファンドの基準価額上昇に貢献しました。アリアンツ・ヨーロッパ・エクイティ・グロース・セレクトファンドについては、期末近くの調整相場で買い付けたため当期中では基準価額の上昇に貢献することはできませんでした。

最も基準価額の上昇に貢献したのはニッポンコムジェスト・ヨーロッパ・ファンドSA（適格機関投資家限定）で、全体の上昇分の約3分の1に貢献しました。これは通期で常に組入比率1位と保有割合を大きく配分したこと、また主な投資先である欧州景気の回復、欧州主要国の大統領選など数々のイベントを大きな波乱なくこなしたことなどによる株高・ユーロ高に起因しました。米国株ファンドと日本株ファンドは、トランプ大統領に対する期待から特に期の中盤まで基準価格の上昇に貢献しました。新興国株ファンドまたは株と債券のマルチアセットファンドは、新興国の商品市況の回復・安定に伴う景気感の改善から通期で基準価額の上昇に貢献しました。

〇1 万口当たりの費用明細

(2016 年 9 月 1 日～2017 年 8 月 31 日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬	159 円	0.972%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額は 16,348 円です。
(投信会社)	(78)	(0.475)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(64)	(0.389)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(18)	(0.108)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	0	0.001	(b) その他費用＝ $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
(その他)	(0)	(0.001)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・移転等に要する費用及び金銭信託に係る手数料
合計	159	0.972	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

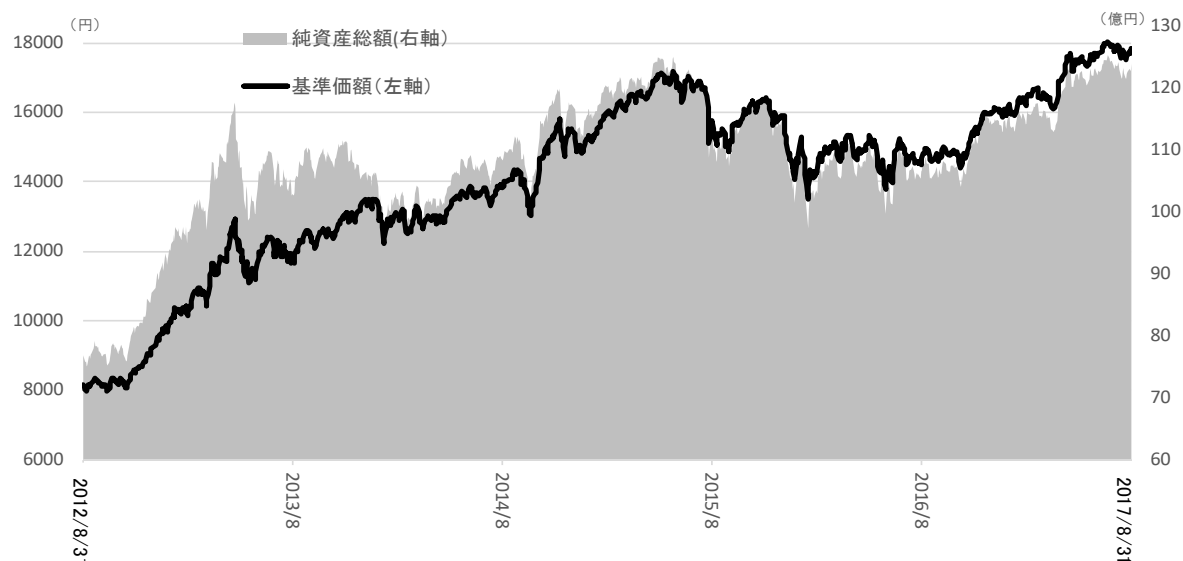
(注2) 各項目の費用は当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

(注3) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して 100 を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

○最近5年間の基準価額等の推移

(2012年8月31日～2017年8月31日)



	2013年 9月2日決算日	2014年 9月1日決算日	2015年 8月31日決算日	2016年 8月31日決算日	2017年 8月31日決算日
基準価額 (円)	11,647	13,818	15,772	14,686	17,859
期間分配金合計 (税込) (円)	—	—	—	—	—
基準価額の騰落率 (%)	43.0	18.6	14.1	－6.9	21.6
純資産総額 (百万円)	10,261	10,825	11,337	10,667	12,385

(注1) 当ファンドの運用方針に適当な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を併記しておりません。

(注2) 当ファンドは分配金を出しておりませんので、分配金再投資基準価額の騰落率は表示しておりません。

(注3) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入しております。

(注4) 純資産総額の単位未満は切り捨てて表示しております。

○投資環境 (2016年9月～2017年8月)

当期の世界株式市場は、序盤では2016年年初からの原油価格下落、6月のBrexitの影響などを引きずり全体的に軟調な推移が続きました。その後11月8日には市場の大半の予想に反してトランプ大統領が誕生したことにより市場は大きく反転し、トランプラリーと言われた上昇相場が続きました。その後、4月・5月にはフランス大統領選を難なく予想通りこなしたことで、欧州の景気改善の確度が高まってきたことなどもあり、期中盤から後半にかけて再び上昇局面が見られました。期末にかけては北朝鮮問題が徐々に顕在化し、それに対する米国の対応に注目が集まりやや調整局面に入りました。

日本では、世界株式市場同様基本的には上昇基調の一年間でした。ただし、米国と欧州が金融緩和と出口の議論を進める中、日本については議論すら時期尚早といった具合で、長期的に見て非常に不安定な市場環境下にあります。企業利益の良し悪しで株価が形成される健全な相場というよりは、日本銀行の金融政策の方により注目された相場だったと考えます。よって、上昇基調の一年ではありませんが、金融緩和に下支えされている要因も大きいと考えます。

米国では、期前半トランプ大統領誕生による一喜一憂する相場環境でしたが、期後半はどちらかというと決められない政権といった負のイメージが大きくなり、政権期待というよりは依然堅調な米国経済による業績相場で上昇が続いた一年になりました。

欧州では、期序盤から中盤にかけての主要国の大統領選などを通して前期のBrexit同様ポピュリズムの台頭が懸念された時期もありましたが、長く低迷していた景気感が改善されてきたことが好感され、主に株価は上昇した一年になりました。ただ、期末にかけてECB(欧州中央銀行)の金融緩和と出口の議論が始まってからは、急激にユーロ高が進行し輸出業の業績へ対する影響などが懸念され、やや調整するなか期末を迎えました。

新興国では、期序盤は米国での利上げ観測などによる資金流失懸念がありましたが、商品市況などの景気感の改善は依然強く、おおむね一年を通して堅調な推移が続きました。

○当ファンドのポートフォリオ

前期に引き続き、当期では一層の国際分散投資を進めました。世界株式市場の時価総額比率などで国・地域別配分比率を考慮した際、当ファンドにおける前期末時点での日本株保有比率が比較的高く、また度重なる日本銀行の追加緩和による日本株式市場の歪みを避けるために、日本株保有比率の高い社会貢献ファンドと TMA 長期投資ファンドを全売却しました。また、金融関連銘柄・資源関連銘柄などの景気敏感銘柄を主な投資対象とする ALAMCO ハリスグローバルバリュー株ファンドについても長期投資に適さないと考え全売却しました。キャピタル・グループ・エマージング・マーケット・トータル・オポチュニティーズファンドについては、同様の戦略でありながらパフォーマンスがより優れて、さらに信託報酬の低いアライアンス・バーンスタイン SICAV I -エマージング・マーケット・マルチアセット・ポートフォリオファンドにスイッチングしました。

直近5年ほど下火だった新興国とリーマンショック以降景気が長い間低迷していた欧州については、景気回復の兆しが見えてきたため新興国株・債券ファンドと欧州株ファンドを買い増し、または新規に組み入れて保有割合を上げました。一方、長期での経済成長期待が難しく金融緩和の出口も見えない日本株式市場では投資対象ファンドを慎重に選定し、経済全体が収縮していく環境であっても企業利益を成長させることができる日本企業に厳選投資するファンドを新規に採用し買い付けました。

米国株式市場については、大統領選挙前にキャピタル・グループ・インベストメント・カンパニー・オブ・アメリカファンドを買い増し、北朝鮮問題などが目立ち始めてきた6月～7月に一部売却しました。また、米国はイノベーションといった新しい技術革新のリーダ企業を多く輩出する国でもありますので、長期投資の観点からそういった米国の成長銘柄を主な投資対象とするアライアンス・バーンスタイン・アメリカングロース・ポートフォリオファンドを新規採用し買い付けました。

(参考情報) 前期末とのファンド組入比率の比較

ファンド名	12 期末 組入比率	当期末 組入比率
ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ・ファンドSA(適格機関投資家限定)	21.8%	19.6%
キャピタル・グループ・インベストメント・カンパニー・オブ・アメリカ	18.5%	17.6%
ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット・ファンドSA(適格機関投資家限定)	18.3%	13.6%
アライアンス・バーンスタイン SICAV I -エマージング・マーケット・エクイティ・ポートフォリオ	-	10.8%
アライアンス・バーンスタイン SICAV I -エマージング・マーケット・マルチアセット・ポートフォリオ	-	10.4%
アライアンス・バーンスタイン SICAV I -エマージング・マーケット・マルチアセット・ポートフォリオ	-	10.3%
アライアンス・バーンスタイン・アメリカン・グロー・ポートフォリオ	-	8.0%
コムジェスト日本株式ファンド(適格機関投資家限定)	-	6.2%
TMA長期投資ファンド	14.2%	-
社会貢献ファンド	9.6%	-
キャピタル・グループ・エマージング・マーケット・トータル・オポチュニティーズ	6.6%	-
ALAMCO ハリス グローバル バリュー株ファンド	4.1%	-
組入ファンド数	7	8

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。 (注3) ファンドの正式名称は目論見書をご参照ください。

(注2) 小数点以下第2位を四捨五入しております。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの運用方針に適当な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。従って、当ファンドとベンチマーク（参考指数）との対比グラフは表示しておりません。

○分配金

基準価額の水準、市況動向等の諸々の状況を勘案し、前期に引き続き分配無しとさせて頂きました。なお、分配にあてず信託財産内に留保した利益につきましては、運用方針に基づいて運用致します。

(単位：円、1 万口当たり・税引前)

第 13 期 (2016 年9月1日～2017 年8月 31 日)	
当期分配金 (対基準価額比率)	—
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	8,246

(注) 当期の収益および当期の収益以外は、小数点以下を切捨てて表示しているため、合計した額が当期の分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

当ファンドは、リスクを抑えながら資産の長期的な成長を目指す投資方針を続けて参ります。日本に限らず世界で活躍する成長企業の成長性を享受できるよう引き続き国際分散投資を徹底します。また、丹念な企業調査に基づく伝統的な運用スタイルのファンドを厳選選別し組み入れていくことで、リスクを抑制いたします。

ダウンサイドリスク抑制をより意識して、株以外の資産クラスを主な投資対象とするファンドの新規組み入れを検討しています。

お知らせ

当期中の約款変更について

当期中に実施した約款変更は以下の通りです。

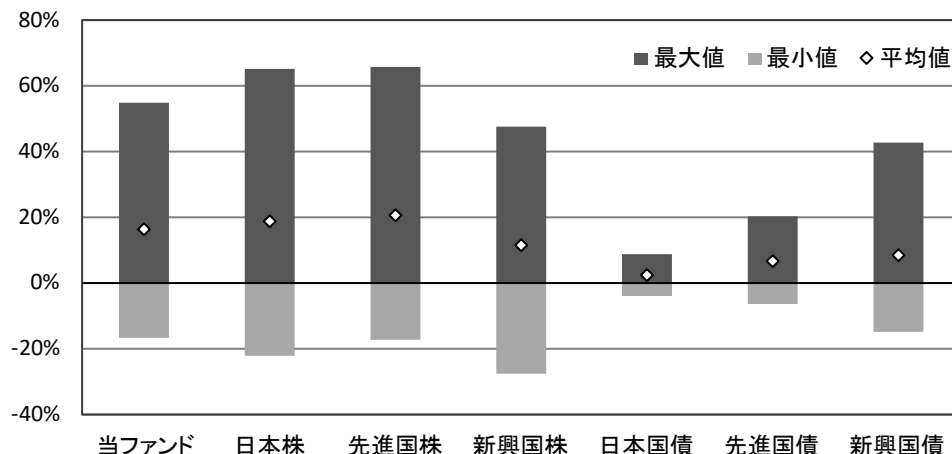
- ① 2016年11月30日 当ファンドが投資を行う投資信託証券の変更（信託約款の附則）
投資対象ファンドの変更に伴い、投資信託約款の附則に所要の変更を行いました。
- ② 2017年5月31日 受託者の自己又は利害関係人等との取引等の追加
受託者の自己又は利害関係人等との取引等を追加する所要の変更を行いました。
- ③ 2017年5月31日 信託の一部解約の解約単位の変更
信託の一部解約の解約単位について所要の変更を行いました。
- ④ 2017年5月31日 当ファンドが投資を行う投資信託証券の変更（信託約款の附則）
投資対象ファンドの変更に伴い、投資信託約款の附則に所要の変更を行いました。

当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／内外／資産複合
信 託 期 間	無期限
運 用 方 針	当ファンドは、投資家の方々の長期的な資産形成のお手伝いをさせていただくことを目的とし、複数のファンドに分散投資を行ない、信託財産の成長を計ることを目標として運用を行ないます。
主 要 運 用 対 象	主として国内外の株式等を投資対象とする投資信託証券を投資対象とします。
運 用 方 法	運用にあたっては、景気変動のサイクルに沿った、アセットアロケーションの切り替えを大前提とします。厳しい基準に基づいて選択されたファンドを活用し、景気サイクルのダイナミズムを先取りする形で、資産配分を行っていきます。運用成果については、特定のベンチマークを設けることはしません。 短期的な市場変動に惑わされることなく、長期的な資産の成長を目指して運用を行います。
分 配 方 針	毎決算時に、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案し決定します。（分配を行わないこともあります。）分配金は税引後自動的に全額再投資されます。

(参考情報) 当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較

(2012年9月末～2017年8月末)



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	54.8	65.0	65.7	47.4	9.1	20.2	43.1
最小値	-16.5	-22.0	-17.5	-27.4	-3.9	-6.6	-14.9
平均値	16.5	19.0	21.0	11.4	2.5	6.6	8.8

(注1) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 2012年9月～2017年8月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

【各資産クラスの指数】

日本株 : TOPIX 配当込み指数

先進国株 : MSCI Kokusai(World ex Japan)Index

新興国株 : MSCI EM(Emerging Markets)Index

日本国債 : ブルームバーク・バークレイズ・グローバル国債 : 日本インデックス

先進国債 : ブルームバーク・バークレイズ・グローバル国債 : G7 インデックス (ヘッジなし円ベース)

新興国債 : ブルームバーク・バークレイズ新興市場自国通貨建て国債インデックス (ヘッジなし円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

※上記指数はファクトセットより取得しています。

※代表的な資産クラスの騰落率はファクトセットのデータベースをもとに、ありがとう投信株式会社が計算しています。

TOPIX に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、東京証券取引所に帰属します。

MSCI Index に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。

ブルームバークは、ブルームバーク・ファイナンス・エル・ピーの商標およびサービスマークです。

バークレイズは、ライセンスに基づき使用 されているバークレイズ・バンク・ピーエルシーの商標およびサービスマークです。

ブルームバーク・ファイナンス・エル・ピーおよびその関係 会社(以下「ブルームバーク」と総称します。)またはブルームバークのライセンサーは、ブルームバーク・バークレイズ・インデックスに対する 一切の独占的権利を有しています。

当ファンドのデータ

○組入資産の内容

(2017 年 8 月 31 日現在)

組入ファンド	組入比率
ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ・ファンドSA(適格機関投資家限定)	19.6%
キャピタル・グループ・インベストメント・カンパニー・オブ・アメリカ	17.6%
ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット・ファンドSA(適格機関投資家限定)	13.6%
アライアンス・バーンスタイン SICAV I -エマージング・マーケット・エクイティ・ポートフォリオ	10.8%
アリアンツ・ヨーロッパ・エクイティ・グロース・セレクト	10.4%
アライアンス・バーンスタイン SICAV I -エマージング・マーケット・マルチアセット・ポートフォリオ	10.3%
アライアンス・バーンスタイン-アメリカン・グロース・ポートフォリオ	8.0%
コムジェスト日本株式ファンド(適格機関投資家限定)	6.2%
その他(短期金融資産等)	3.4%
組入ファンド数	8 銘柄

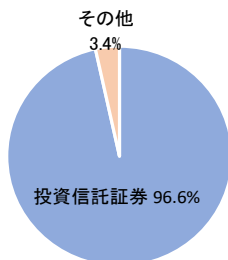
(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 全銘柄に関する詳細な情報につきましては運用報告書(全体版)に記載されております。

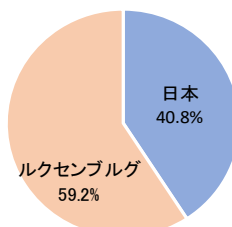
(注3) 小数点以下第2位を四捨五入しております。

(注4) ファンドの正式名称は交付目論見書をご参照ください。

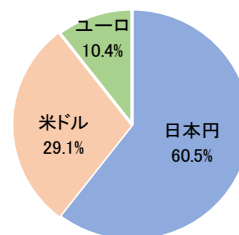
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注) 資産別・通貨別配分比率は純資産総額に対する評価額の割合、国別配分(発行国基準)の比率はポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

○純資産等

項 目	第 13 期末
	2017 年 8 月 31 日
純 資 産 総 額	12,385,467,150 円
受 益 権 総 口 数	6,934,954,784 口
1 万口当たり基準価額	17,859 円

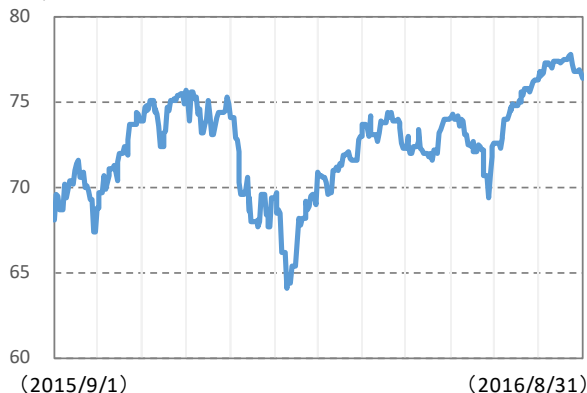
(注) 期中における追加設定元本額は 447,350,325 円、同解約元本額は 776,115,911 円です。

○組入ファンドの概要

アライアンス・バーンスタイン・アメリカン・グロース・ポートフォリオ

◆基準価額の推移

(米ドル)



◆費用明細

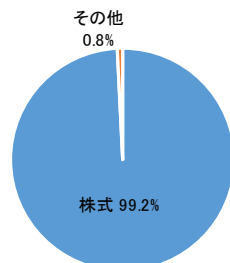
販売手数料	信託財産留保金	信託報酬(年率)
なし	なし	0.70%

◆組入上位 10 銘柄

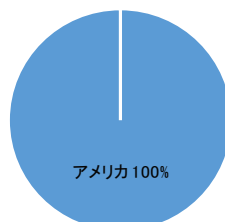
(2016 年 8 月 31 日現在)

	銘柄名	通貨	国/地域	投資比率(%)
1	Alphabet, Inc.	米ドル	アメリカ	7.4%
2	Facebook, Inc. - Class A	米ドル	アメリカ	6.9%
3	Visa, Inc. - Class A	米ドル	アメリカ	5.9%
4	Home Depot, Inc.	米ドル	アメリカ	4.5%
5	Apple, Inc.	米ドル	アメリカ	4.2%
6	Biogen, Inc.	米ドル	アメリカ	4.2%
7	CVS Health Corp.	米ドル	アメリカ	4.2%
8	UnitedHealth Group, Inc.	米ドル	アメリカ	4.2%
9	Intuitive Surgical, Inc.	米ドル	アメリカ	3.7%
10	NIKE, Inc. - Class B	米ドル	アメリカ	2.7%

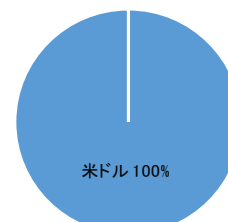
◆資産別配分



◆国別配分



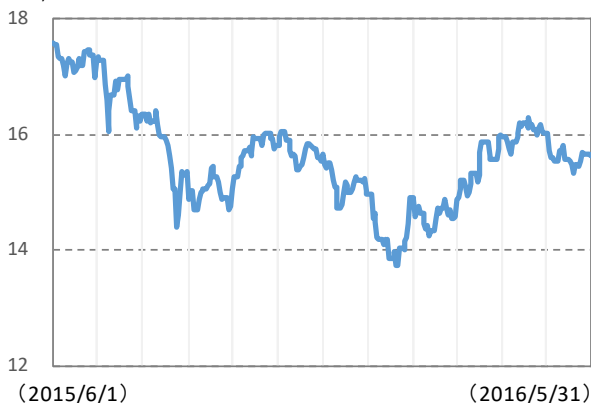
◆通貨別配分



アライアンス・バーンスタイン SICAV I エマージング・マーケット・エクイティ・ポートフォリオ

◆基準価額の推移

(米ドル)



◆費用明細

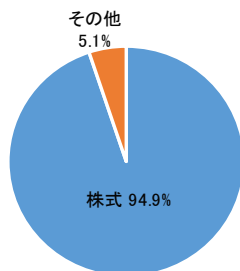
販売手数料	信託財産留保金	信託報酬(年率)
なし	なし	0.85%

◆組入上位 10 銘柄

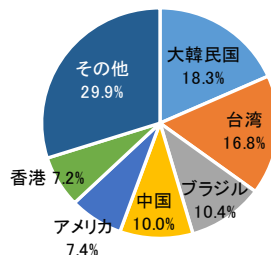
(2016 年 5 月 31 日現在)

	銘柄名	国/地域	投資比率(%)
1	OTP Bank PLC	ハンガリー	3.8%
2	Chunghwa Telecom Co., Ltd	台湾	3.7%
3	KT&G Corp.	大韓民国	3.3%
4	WH Group Ltd.	香港	3.1%
5	Itausa – Investimentos Itau SA	ブラジル	3.0%
6	Philip Morris International, Inc.	アメリカ	2.8%
7	St Shine Optical Co.,Ltd.	台湾	2.6%
8	Yue Yuen Industrial Holdings Ltd.	香港	2.6%
9	Uni-President Enterprises Corp.	台湾	2.5%
10	Sappi Ltd.	南アフリカ	2.4%

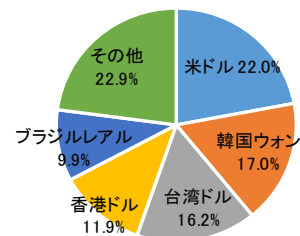
◆資産別配分



◆国別配分



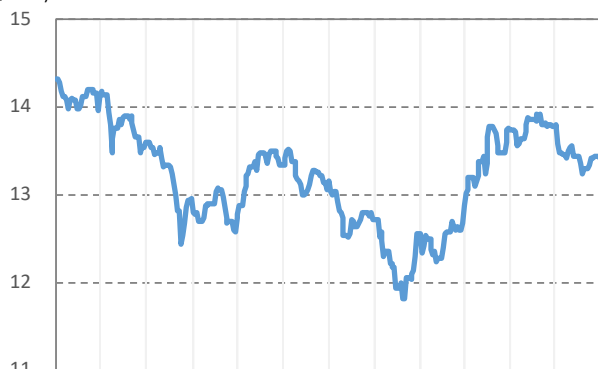
◆通貨別配分



アライアンス・バーンスタイン SICAV I -エマージング・マーケット・マルチアセット・ポートフォリオ

◆基準価額の推移

(米ドル)



(2015/6/1)

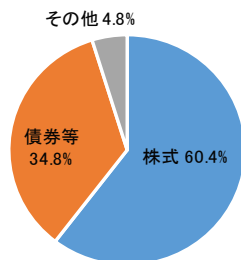
(2016/5/31)

◆組入上位 10 銘柄

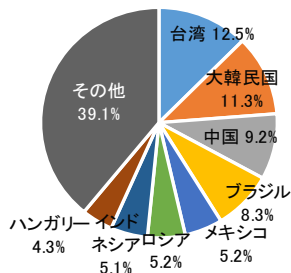
(2016 年 5 月 31 日現在)

	銘柄名	国/地域/種別	投資比率(%)
1	Transcend Information, Inc.	台湾	2.0%
2	Huadian Power International Corp.,Ltd. - Class H	中国	2.0%
3	KT&G Corp.	大韓民国	1.9%
4	Novatek Microelectronics Corp.	台湾	1.9%
5	Korea Electric Power Corp.	大韓民国	1.7%
6	Tatneft PAO (Sponsored ADR)	ロシア	1.7%
7	Surya Citra Media Tbk PT	インドネシア	1.6%
8	Indonesia Government International Bond 3.375%	インドネシア国債	1.6%
9	LUKOIL PJSC (London)	ロシア	1.6%
10	Lotte Chemical Corp.	大韓民国	1.6%

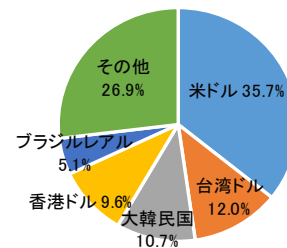
◆資産別配分



◆国別配分

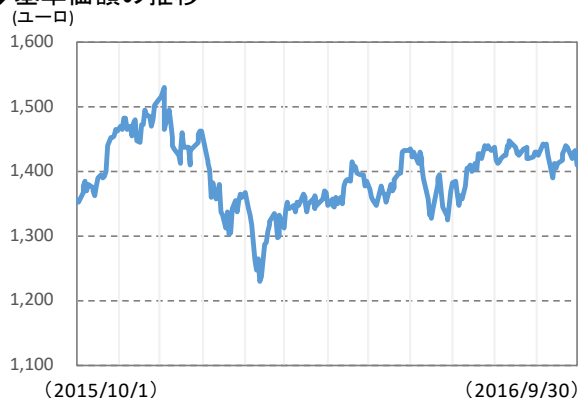


◆通貨別配分



アリアンツ・ヨーロッパ・エクイティ・グロース・セレクト

◆基準価額の推移



◆費用明細

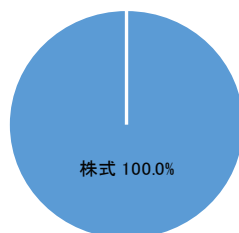
販売手数料	信託財産留保金	信託報酬(年率)
なし	なし	0.45%

◆組入上位 10 銘柄

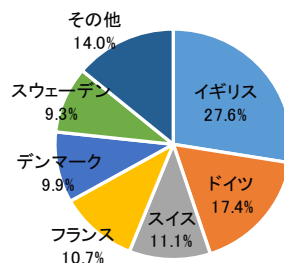
(2016 年 9 月 30 日現在)

	銘柄名	通貨	国/地域	投資比率(%)
1	SAP SE	ユーロ	ドイツ	7.3%
2	RECKITT BENCKISER GROUP PLC	英ポンド	イギリス	5.3%
3	NOVO NORDISK A/S-B	デンマーククローネ	デンマーク	5.1%
4	INFINEON TECHNOLOGIES AG	ユーロ	ドイツ	4.6%
5	BRITISH AMERICAN TOBACCO PLC	英ポンド	イギリス	4.4%
6	HEXAGON AB-B SHS	スウェーデンクローナ	スウェーデン	4.1%
7	PRUDENTIAL PLC	英ポンド	イギリス	4.0%
8	FRESENIUS SE & CO KGAA	ユーロ	ドイツ	3.3%
9	CIE FINANCIERE RICHEMONT-REG	スイスフラン	スイス	3.3%
10	SHIRE PLC	英ポンド	イギリス	3.2%
組入銘柄数				40銘柄

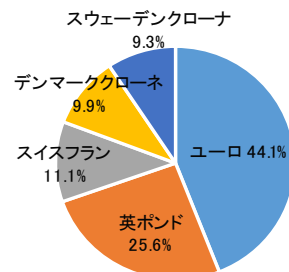
◆資産別配分



◆国別配分

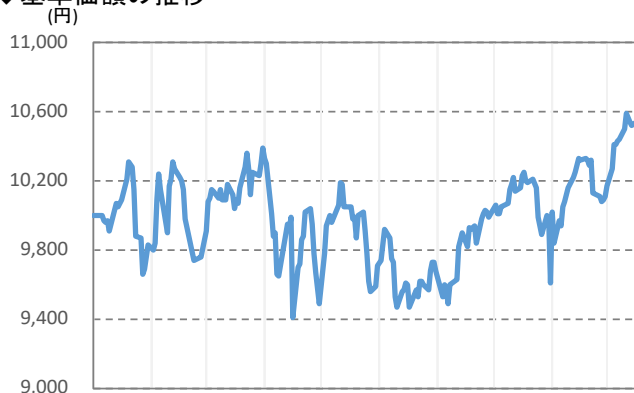


◆通貨別配分



コムジェスト日本株式ファンド(適格機関投資家限定)

◆基準価額の推移



(2016/3/10)

(2016/12/26)

◆組入ファンド

(2016年12月26日現在)

	組入比率
コムジェスト日本株式マザーファンド	99.8%
コール・ローン等、その他	0.2%
組入銘柄数	1銘柄

(注)組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

◆1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	2016/3/10～2016/12/26 金額	比率	
平均基準価額	10,034円		各期中の平均基準価額です。
(a) 信託報酬	67円	0.672%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投信会社)	(43)	(0.432)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(22)	(0.216)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(2)	(0.024)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	40	0.400	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
(株式)	(40)	(0.400)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) その他費用	3	0.028	(c) その他費用＝期中のその他費用÷各期中の平均受益権口数
(監査費用)	(3)	(0.026)	・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	(0)	(0.002)	・無利息金銭信託等
合計	110	1.100	

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【参考情報】コムジェスト日本株式マザーファンド

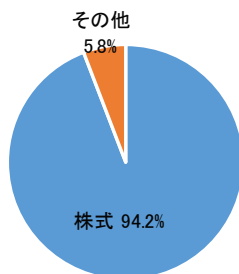
※コムジェスト日本株式ファンドの実質的な投資先を明確にするために同ファンドが投資するマザーファンドの運用状況を掲載しております。

◆組入上位 10 銘柄

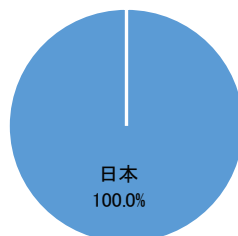
(2016 年 12 月 26 日現在)

	銘柄名	国	業種	投資比率(%)
1	ファーストリテイリング	日本	一般消費財・サービス	4.7%
2	キーエンス	日本	情報技術	4.3%
3	ファナック	日本	資本財・サービス	4.0%
4	シスメックス	日本	ヘルスケア	3.7%
5	村田製作所	日本	情報技術	3.6%
6	ダイフク	日本	資本財・サービス	3.5%
7	ダイキン工業	日本	資本財・サービス	3.2%
8	ポーラ・オルビスホールディングス	日本	生活必需品	3.1%
9	シマノ	日本	一般消費財・サービス	3.1%
10	ドンキホーテホールディングス	日本	一般消費財・サービス	3.1%
組入銘柄数				39銘柄

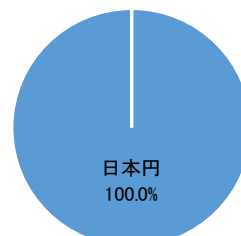
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分

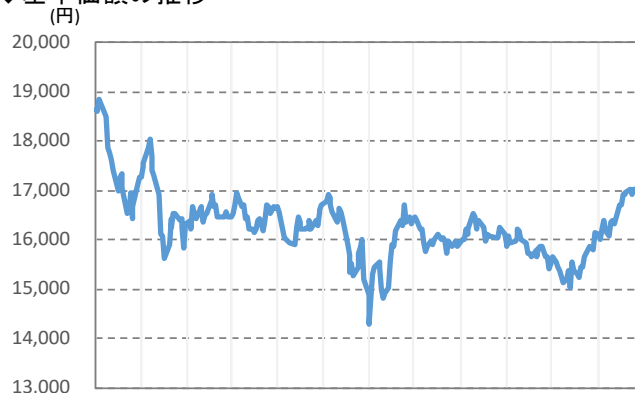


(注1) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注2) 国は、コムジェストSAの判断によります。

ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ・ファンドS A（適格機関投資家限定）

◆基準価額の推移



(2015/12/28)

(2016/12/26)

◆組入ファンド

(2016年12月26日現在)

	組入比率
ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ マザーファンド	99.5%
コール・ローン等、その他	0.5%
組入銘柄数	1 銘柄

(注)組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

◆1万口当たりの費用明細

項目	当期 2015/12/26～2016/12/26		項目の概要
	金額	比率	
平均基準価額	16,565円		期中の平均基準価額です。
(a) 信託報酬	179円	1.083%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（投信会社）	(108)	(0.650)	委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの 管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
（販売会社）	(54)	(0.325)	
（受託会社）	(18)	(0.108)	
(b) 売買委託手数料	17	0.105	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益 権口数
（株式）	(17)	(0.105)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に 支払う手数料
(c) 有価証券取引税	9	0.057	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益 権口数
（株式）	(9)	(0.057)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に 関する税金
(d) その他費用	12	0.071	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	(10)	(0.060)	・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券 等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 ・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る 費用 ・外国株式に関する各種手数料等 ・無利息金銭信託手数料等
（監査費用）	(1)	(0.005)	
（その他1）	(1)	(0.005)	
（その他2）	(0)	(0.001)	
合計	217	1.316	

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【参考情報】ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ マザーファンド

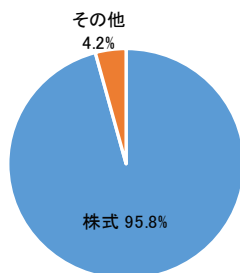
※ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ・ファンドSAの実質的な投資先を明確にするために同ファンドが投資するマザーファンドの運用状況を掲載しております。

◆組入上位 10 銘柄

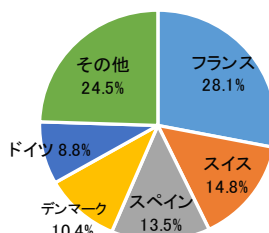
(2016 年 12 月 26 日現在)

	銘柄名	通貨	国/地域	投資比率(%)
1	INDITEX	ユーロ	スペイン	7.4%
2	AMADEUS IT GROUP SA	ユーロ	スペイン	6.1%
3	ESSILOR INTERNATIONAL	ユーロ	フランス	5.4%
4	DASSAULT SYSTEMES SA	ユーロ	フランス	5.1%
5	COLOPLAST -B	デンマーククローネ	デンマーク	4.7%
6	L'OREAL	ユーロ	フランス	3.9%
7	SARTORIUS STEDIM BIOTECH	ユーロ	フランス	3.7%
8	WIRECARD AG	ユーロ	ドイツ	3.6%
9	ROCHE HOLDING AG-GENUSSCHEIN	スイスフラン	スイス	3.6%
10	LINDT & SPRUENGLI AG-PC	スイスフラン	スイス	3.4%
組入銘柄数				31銘柄

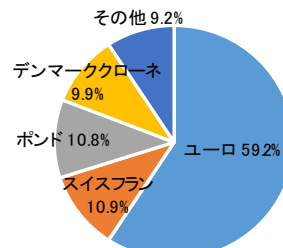
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分

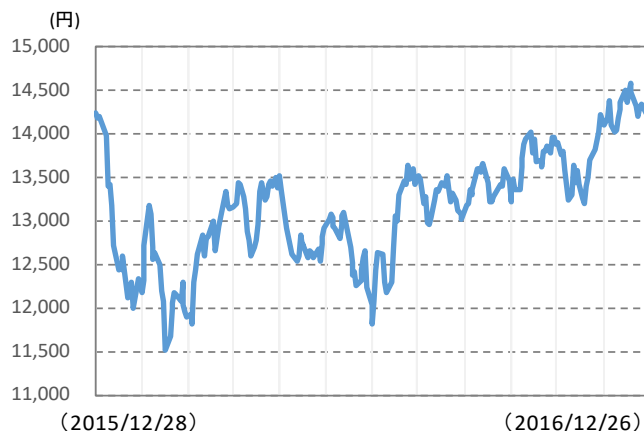


(注1) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注2) 国は、コムジェストSAの判断によります。

ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット・ファンドSA（適格機関投資家限定）

◆基準価額の推移



◆組入ファンド

(2016年12月26日現在)

	組入比率
ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット マザーファンド	99.5%
コール・ローン等、その他	0.5%
組入銘柄数	1 銘柄

(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

◆1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
平均基準価額	13,274円		各期中の平均基準価額です。
(a) 信託報酬	144円	1.083%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投資会社)	(86)	(0.650)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(43)	(0.325)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(14)	(0.108)	運用財産の管理、投資会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	23	0.175	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
(株式)	(23)	(0.175)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税	5	0.036	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷各期中の平均受益権口数
(株式)	(5)	(0.036)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用	23	0.170	(d) その他費用＝期中のその他費用÷各期中の平均受益権口数
(保管費用)	(20)	(0.153)	・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(1)	(0.007)	・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他1)	(1)	(0.009)	・外国株式に関する各種手数料等（ADR手数料や税務代理人費用等）
(その他2)	(0)	(0.001)	・インド株式におけるキャピタルゲイン課税等
合計	195	1.464	

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【参考情報】ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット マザーファンド

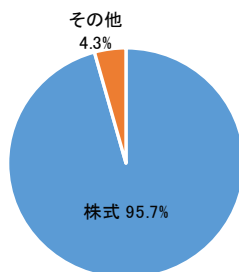
※ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット・ファンドSAの実質的な投資先を明確にするために同ファンドが投資するマザーファンドの運用状況を掲載しております。

◆組入上位 10 銘柄

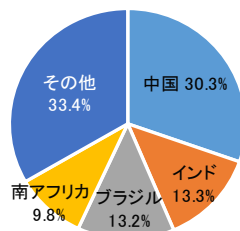
(2016 年 12 月 26 日現在)

	銘柄名	通貨	国/地域	投資比率(%)
1	TAIWAN SEMICONDUCTOR-SP ADR	米ドル	台湾	6.3%
2	CHINA LIFE INSURANCE CO-H	香港ドル	中国	4.8%
3	NETEASE INC ADR	米ドル	中国	4.5%
4	POWER GRID CORP OF INDIA LTD	インドルピー	インド	4.3%
5	INFOSYS LTD-SP ADR	米ドル	インド	3.8%
6	CHINA MOBILE LTD	香港ドル	中国	3.3%
7	SAMSUNG LIFE INSURANCE CO	韓国ウォン	韓国	3.2%
8	MTN GROUP LTD	南アフリカランド	南アフリカ	3.1%
9	FOMENTO ECONOMICO MEXICANO	メキシコペソ	メキシコ	2.8%
10	BB SEGURIDADE PARTICIPACOES SA	ブラジルレアル	ブラジル	2.8%
組入銘柄数				39銘柄

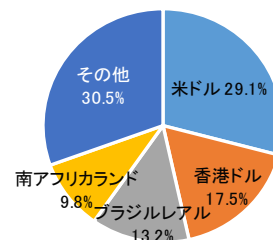
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分

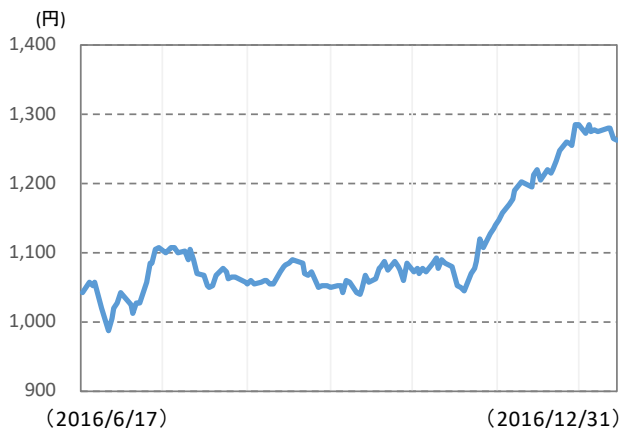


(注1) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注2) 国は、コムジェストSAの判断によります。

キャピタル・グループ・インベストメント・カンパニー・オブ・アメリカ

◆基準価額の推移



◆費用明細

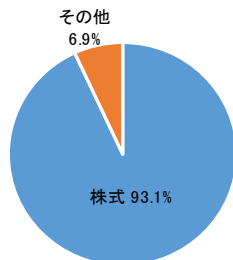
販売手数料	信託財産留保金	信託報酬(年率)
なし	なし	0.65%(2018年6月30日まで) 0.75%(2018年7月1日以降)

◆組入上位 10 銘柄

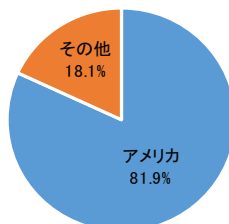
(2016 年 12 月 31 日現在)

	銘柄名	通貨	国/地域	投資比率(%)
1	AbbVie, Inc.	米ドル	アメリカ	4.2%
2	Amgen, Inc.	米ドル	アメリカ	2.9%
3	Verizon Communications, Inc.	米ドル	アメリカ	2.5%
4	Philip Morris International, Inc.	米ドル	アメリカ	2.4%
5	Oracle Corp.	米ドル	アメリカ	2.0%
6	Amazon.com, Inc.	米ドル	アメリカ	2.0%
7	Texas Instruments, Inc.	米ドル	アメリカ	1.9%
8	Union Pacific Corp.	米ドル	アメリカ	1.9%
9	Altria Group, Inc.	米ドル	アメリカ	1.8%
10	American International Group, Inc.	米ドル	アメリカ	1.7%

◆資産別配分



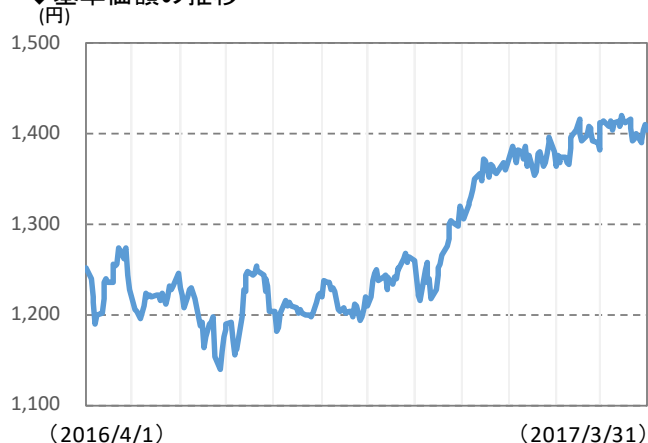
◆国別配分



(注1) 通貨別配分については開示されていないため記載しておりません。

キャピタル・グループ・エマージング・マーケット・トータル・オポチュニティーズ

◆基準価額の推移



◆費用明細

販売手数料	信託財産留保金	信託報酬(年率)
なし	なし	0.875%

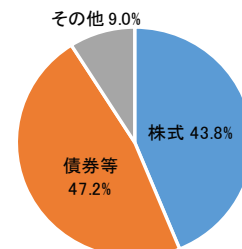
◆組入上位 10 銘柄

(2017 年 3 月 31 日現在)

	銘柄名	種別	投資比率(%)
1	Brazil Government	ブラジル国債	3.8%
2	Russia Government	ロシア国債	3.8%
3	Mexico Government	メキシコ国債	3.7%
4	Argentina Government(米ドル建て)	アルゼンチン国債	3.4%
5	India Government	インド国債	3.2%
6	Argentina Government(現地通貨建て)	アルゼンチン国債	1.7%
7	Petroleo Brasileiro SA,	ブラジル株式	1.6%
8	Peru Government	ペルー国債	1.5%
9	Taiwan Semiconductor Manufacturing Co. Ltd.	台湾株式	1.5%
10	South Africa Government	南アフリカ国債	1.5%

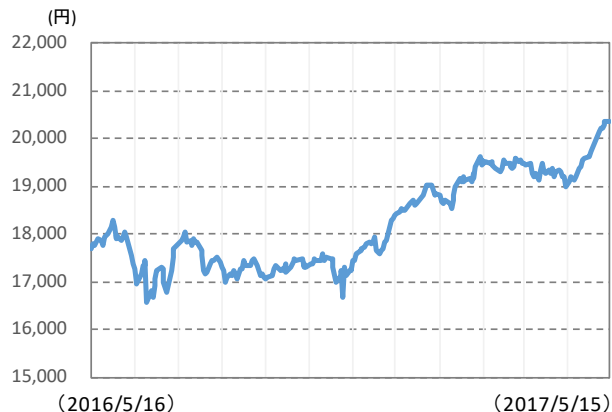
(注 1) 国別配分、通貨別配分については開示されていないため記載しておりません。

◆資産別配分



TMA長期投資ファンド〈適格機関投資家限定〉

◆基準価額の推移



◆組入ファンド

(2017年5月15日現在)

	組入比率
東京海上長期投資マザーファンド	100.0%
組入銘柄数	1 銘柄

(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

◆1 万口当たりの費用明細 (2016年5月17日～2017年5月15日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
	円	%	
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	93 (79) (6) (9)	0.512 (0.431) (0.032) (0.048)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 * 委託した資金の運用、基準価額の計算等の対価 * 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価 * 運用財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料 (株式)	21 (21)	0.117 (0.117)	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 * 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税 (株式)	0 (0)	0.000 (0.000)	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 * 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用 (保管費用) (監査費用) (その他)	3 (2) (2) (0)	0.019 (0.009) (0.010) (0.000)	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 * 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 * 監査費用は、監査法人に支払うファンドの監査に係る費用 * その他は、信託事務等に要する諸費用
合計	117	0.648	

期中の平均基準価額は、18,244 円です。

- (注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入しています。
- (注3) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。
- (注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

【参考情報】東京海上長期投資マザーファンド

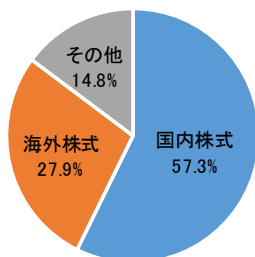
※TMA長期投資ファンドの実質的な投資先を明確にするために同ファンドが投資するマザーファンドの運用状況を掲載しております。

◆組入上位 10 銘柄

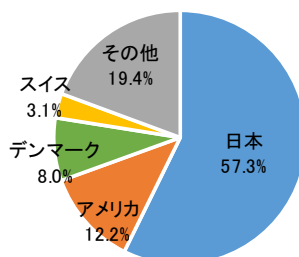
(2017 年 5 月 15 日現在)

	銘柄名	通貨	国/地域	投資比率(%)
1	NOVO NORDISK A/S-B	デンマーククローネ	デンマーク	4.7%
2	アサヒグループホールディングス	日本円	日本	4.2%
3	前田道路	日本円	日本	3.8%
4	MonotaRO	日本円	日本	3.7%
5	GMOペイメントゲートウェイ	日本円	日本	3.6%
6	ヤオコー	日本円	日本	3.5%
7	関西ペイント	日本円	日本	3.5%
8	NOVOZYMES A/S-B SHARES	デンマーククローネ	デンマーク	3.3%
9	ミスミグループ本社	日本円	日本	3.3%
10	EXXON MOBIL CORPORATION	米ドル	アメリカ	3.2%
組入銘柄数				30銘柄

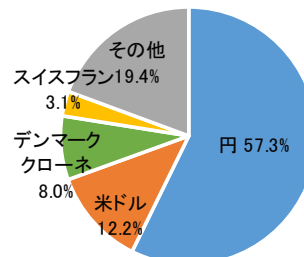
◆資産別配分



◆国別配分



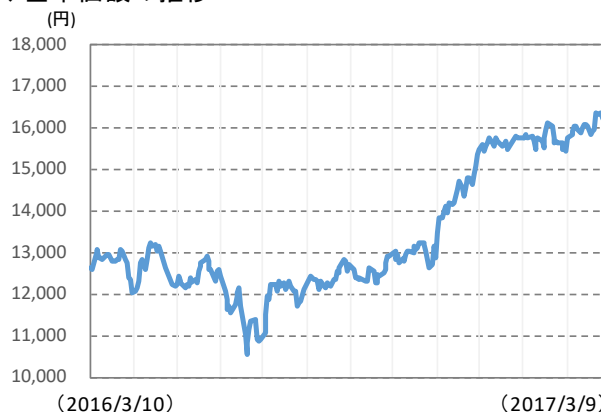
◆通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

ALAMCO ハリス・グローバル バリュース株ファンド 2007（適格機関投資家専用）

◆基準価額の推移



(注) 期末基準価額は分配金込で計算しております。

◆組入ファンド

(2017年3月9日現在)

	組入比率
ALAMCO ハリス・グローバル バリュース株マザーファンド	88.2%
コール・ローン等、その他	11.8%
組入銘柄数	1 銘柄

(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

◆1万口当たりの費用明細

(2016年3月10日～2017年3月9日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	158	1.404	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(122)	(1.080)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(27)	(0.238)	各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(10)	(0.086)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	4	0.033	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
（ 株 式 ）	(4)	(0.033)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際に支払う手数料です。
(c) 有 価 証 券 取 引 税	3	0.029	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数
（ 株 式 ）	(3)	(0.029)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金です。
(d) そ の 他 費 用	9	0.076	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(8)	(0.070)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用です。
（ 監 査 費 用 ）	(1)	(0.005)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用です。
（ そ の 他 ）	(0)	(0.001)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	174	1.542	
期中の平均基準価額は、11,282円です。			

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【参考情報】ALAMCO ハリス・グローバル バリュース株マザーファンド

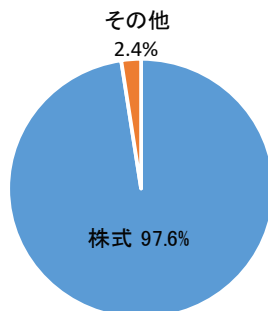
※ALAMCO ハリス・グローバル バリュース株マザーファンド 2007 の実質的な投資先を明確にするために同ファンドが投資するマザーファンドの運用状況を掲載しております。

◆組入上位 10 銘柄

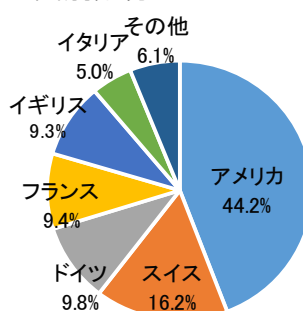
(2017 年 3 月 9 日現在)

	銘柄名	通貨	国/地域	投資比率(%)
1	BNP PARIBAS	ユーロ	フランス	5.0%
2	CNH INDUSTRIAL NV	ユーロ	イタリア	5.0%
3	ALLIANZ SE	ユーロ	ドイツ	4.9%
4	GLENCORE PLC	英ポンド	イギリス	4.9%
5	DAIMLER AG-REG	ユーロ	ドイツ	4.8%
6	CREDIT SUISSE GROUP AG-REG	スイスフラン	スイス	4.8%
7	GENERAL MOTORS CO	米ドル	アメリカ	4.0%
8	JULIUS BAER GROUP LTD	スイスフラン	スイス	3.6%
9	GROUP TELEVISA SA-SPON ADR	米ドル	アメリカ	3.6%
10	WELLS FARGO & CO	米ドル	アメリカ	3.3%
組入銘柄数				36銘柄

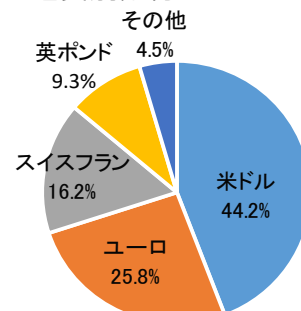
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注 1) 組入上位 10 銘柄の投資比率は現物株式ポートフォリオに占める比率です。

(注 2) 資産別配分、国別配分、通貨別配分は純資産総額に対する評価額の割合です。

社会貢献ファンド（適格機関投資家専用）

社会貢献ファンドは既に繰り上げ償還したため、直近の開示資料がございません。よって、下記は前回と同様の内容になります。

◆基準価額の推移



◆組入ファンド（2015年9月24日現在）

	組入比率
ALAMCO 社会貢献マザーファンド	98.5%
その他（短期金融資産等）	1.5%
組入銘柄数	1銘柄

（注）組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

【参考情報】ALAMCO 社会貢献マザーファンド

※社会貢献ファンドの実質的な投資先を明確にするために同ファンドが投資するマザーファンドの運用状況を掲載しております。

◆組入上位 10 銘柄（2015年9月24日現在）

	銘柄名	投資比率 (%)
1	ブロンコビリー	5.16
2	トヨタ自動車	5.08
3	サックスパー ホールディングス	4.82
4	三菱鉛筆	4.71
5	太陽ホールディングス	4.62
6	良品計画	4.54
7	オムロン	4.53
8	アークランドサービス	4.34
9	イーグル工業	3.75
10	東鉄工業	3.33
	組入銘柄数	36銘柄

（注1）国別配分・通貨別配分は開示されていません。

（注2）組入上位 10 銘柄の投資比率は現物株式ポートフォリオに占める比率です。

（注3）資産別配分は純資産総額に対する評価額の割合です。

◆1 万口当たりの費用明細

（2014年9月23日～2015年9月24日）

項	目	当 期
(a)	信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託銀行)	147 円 (129) (4) (15)
(b)	売買委託手数料 (株 式)	31 (31)
(c)	その他費用 (監査費用)	1 (1)
	合 計	179

（注）期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です（項目ごとに円未満は四捨五入しています）。

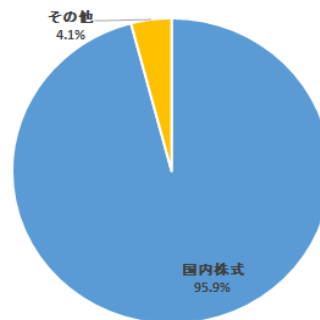
(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額×信託報酬率

(b) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 / 期中の平均受益権口数

(c) 保管費用等 = 期中の保管費用等 / 期中の平均受益権口数

なお、売買委託手数料および保管費用等は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

◆資産別配分



直接販売状況

2017 年 8 月 31 日決算日現在 有効口座数 (※) 4,721 口座 ※決算日現在残高のないお客様も含みます。

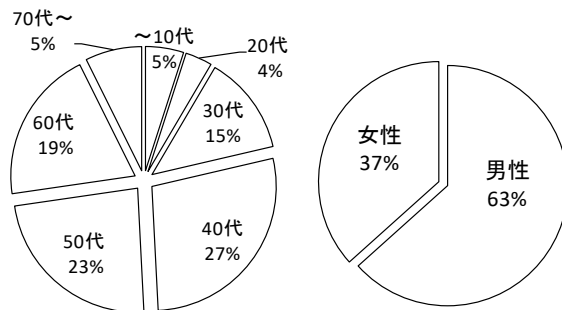
当期末現在で口座数が 4,721 口座 (内法人 25 口座) となりました。一人当たりの平均保有残高は 2,623 千円です。当期間の新規口座開設件数は 111 口座でした。前期に引き続き、「本・新聞等を見て」や「家族・知人の紹介」を口座開設のきっかけとされる方が多くを占めております。一方、一定期間取引の無いお客様の口座閉鎖手続きをマイナンバーの収集と合わせて実施させていただいたことなどにより口座数減少は 273 口座となりました。

◆お客様の特徵

年代別では、40 代のお客様が 27.7%と最も多く、40 代から 60 代のお客様が全体の約7割となっております。

◆ファンド設定・解約の状況

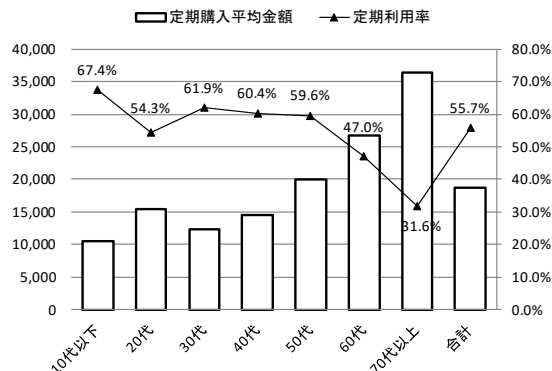
第 13 期においては、設定金額が 724 百万円、解約金額が 1,263 百万円となり、金額ベースで純流出となりました。主な要因としては、基準価額が上昇し最高値圏で推移したことや資産活用期のお客様の資金ニーズが増えたことによる換金が上げられます。また、ありがとうファンドの純資産額は、期中平均 116 億円となりました。



◆定期積立サービス

当サービスをご利用されているお客様の割合は 55.7% (分母：有効口座数)。一人当たりの定期購入金額平均は 18,791 円でした。

長期・国際分散・積立投資は資産形成の王道であります。少額から積立投資を継続することで時間分散によってリスクを抑えながら資産形成ができるので、特にこれから将来に備えていく現役世代の方にご利用をおすすめしております。



◆運用状況を随時お伝えしております。

毎月月上旬発行の月次レポートだけでなく、ありがとうファンドの魅力や運用状況をお伝えするセミナーや勉強会を全国で定期的に開催しております。今後も引き続き情報発信を積極的に行って参ります。

